

クールジャパン戦略の取組について

平成26年4月21日

クールジャパン戦略担当大臣 稲田朋美

1. クールジャパン推進会議の開催

クールジャパン推進会議の開催(H25.3~5)

- 稲田クールジャパン戦略担当大臣を議長として、発信力強化を目的とした、クールジャパン推進会議を設置
- 会議メンバーは、日本文化の第一人者である民間議員7名及び関係府省の副大臣等
【民間議員】
秋元 康氏(作詞家)、角川 歴彦氏(角川HD会長)、金 美齡氏(評論家)、コシノ ジュンコ氏(デザイナー)、佐竹 力総氏(日本フードサービス協会理事)、千 宗室氏(茶道裏千家家元)、依田 巽氏(ギョウカ(株)会長兼社長CEO)
- 計4回の会議を実施。第4回会合(平成25年5月28日)において「アクションプラン」を取りまとめた。

具体的取組

クールジャパン推進会議関係府省連絡会議の開催(H25.4~)

- クールジャパン推進会議において検討されるクールジャパン戦略の推進方策及び発信力の強化方策を具体的に各省連携で実施するため、クールジャパン推進会議の下に関係府省連絡会議を設置
- 本会議は、クールジャパン戦略担当政務官を座長とし、知的財産戦略推進事務局長及び関係府省の局長等をメンバーとする。
- これまで計5回の会議を実施。今後、本会議を通じて上述の「アクションプラン」の実行状況をフォローアップしていくこととしており、概ね3ヶ月に1回程度の開催を予定(直近の開催は平成25年12月9日)

2. アクションプラン（平成25年5月策定）の概要

「トータルコーディネート」、「一緒に」

①食（スイーツ含む）、ものづくり、コンテンツ等の幅広い分野の連携による発信【外務省、経産省、総務省、農水省、内閣官房（日本産酒類の連絡会議、国際広報室）】

②伝統文化やポップカルチャーとの融合を含めた日本発の芸術作品の海外発信。【外務省、文科省】

③平成24年度補正予算を活用した発信及び（株）海外需要開拓支援機構の有効活用により、インバウンドの推進につなげるサイクルの実現。【経産省、総務省、観光庁】

④食や観光等の情報を放送やネットを通じて海外に発信する取組などの支援。【総務省、経産省、農水省】

⑤外国人に対し、日本産酒類の魅力を日本食と併せて発信。【内閣官房（日本産酒類の連絡会議）、財務省（国税庁）、外務省、農水省、経産省、観光庁】

「きっかけ」

⑥魅力的なロゴの作成など、クールジャパンを知るきっかけの発信。【内閣官房（国際広報室）、文科省、関係各府省】

⑦総理大臣、クールジャパン戦略担当大臣などによる発信。【内閣官房（知財事務局）、関係各府省】

「みんなで」

⑧政府が一丸となって、クールジャパンの推進への国民の広範な参加を促す。【内閣官房（知財事務局）、関係各府省】

⑨人気投票によるポップカルチャーキャラクターの発信。【内閣官房（知財事務局）、関係各府省】

⑩文化交流などにより、外国人の目から見た我が国の魅力を認識できるようにする。【文科省、外務省】

「愛され方」

⑪クールジャパンとビジットジャパンの効果的な連携。【観光庁、関係各府省】

⑫海外での日本文化の好感度を高め、外国人の手によるクールジャパン再発信につなげる。【外務省、関係各府省】

「ストーリー」

⑬「日本遺産（仮称）」の創設等の文化財の活用。【文科省】

「育てる」

⑭ポップカルチャーの海外市場形成のための人財育成、日本文化ファンの日本招聘。【文科省、外務省、経産省】

⑮クールジャパン発信イベント等の支援、イベント参加に対する支援。【内閣官房（知財事務局）、文科省、関係各府省】

⑯食の伝道師を育成し、日本食・食文化の普及・啓発。【農水省】

⑰日本文化・産品を集めた発信又はその支援。【文科省、外務省、経産省、農水省】

⑱クリエイターが励みとなるような顕彰事業の充実。【文科省、外務省、経産省】

⑲海外研修、海外での交流、国際共同制作を通じた人財育成支援。【文科省、経産省】

3. クールジャパン発信の具体的取組 (1)

－ 第5回アフリカ開発会議 (TICADV) における発信 －

「アクションプラン」に基づく取組の第1弾として、第5回アフリカ開発会議(TICADV)の公式イベントであるアフリカン・フェア2013(※)のオープニング・セレモニーに稲田クールジャパン担当大臣が出席。アフリカ各国の首脳に対し、大臣自らが先頭に立って日本の魅力を発信。



(アフリカ各国首脳とステージに立ち挨拶)



(アフリカ各国首脳と鏡割りに参加)



(ヘアウィッグ製品のブースを視察)

(※)アフリカン・フェア2013とは

アフリカン・フェア2013は、アフリカ産品やビジネス情報を紹介するTICADVの公式イベントとして、経済産業省とJETROが主催。出席者は、アフリカ各国要人、各国大使館・政府関係者等で、会場にはクールジャパンを題材にして日本製品を紹介するコーナーを設置。

4. クールジャパン発信の具体的取組 (2) — Tokyo Crazy Kawaii Parisにおける発信 —

Tokyo Crazy Kawaii Paris(※)を視察するとともに、この機会を活用して食やファッションなどの日本の魅力を発信。和装・洋装で、日本食の試食や新作ゲームのデモンストレーションなどを行った。



(着物でラーメンを試食)



(着物でゲームを体験)



(ゴスロリ衣装で記念撮影、多くの来場者、記者に囲まれる。)

(※) Tokyo Crazy Kawaii Parisとは

従来からパリではフランス人・企業によるサブカルチャー中心の日本文化の紹介イベントであるJapan Expoが行われてきた。

これに対し、電通や大日本印刷など日本企業中心の実行委員会が主催し、食、音楽、ファッション、ゲーム、伝統工芸品など日本の様々な文化や産業を紹介するイベントとしてパリで開催したのがTokyo Crazy Kawaii Parisであり、9月に初開催。

5. クールジャパン発信の具体的取組 (3) — 米国ジャパン・ソサエティーにおける発信 —

米国ニューヨークに所在するジャパン・ソサエティーにおいて、「クールジャパン戦略とは～世界に発信する日本の魅力～」と題して講演を行い、日本の様々な魅力について発信。また、その中で「一番やりたいのはクールジャパンを社会運動にすること。日本人自身が日本の良さを知らないこともあるので、クールジャパンに関する提案を日本だけではなく世界各国から受け付けたい。」と、国民みんなでムーブメントを起こす方策を展開する旨発言。



(Photo by Alan Klein)

(講演する稲田大臣)



(講演の様子)



(Photo by Alan Klein)

(会場からの質問に答える稲田大臣)

6. 地方版クールジャパン推進会議の開催

地方版クールジャパン推進会議

- 稲田大臣が地方都市に赴き、「地方」あるいは「外国人」といった切り口で「地方版クールジャパン推進会議」を開催し、海外展開の成功事例や課題、行政への要望などについて議論する。
- 地方からクールジャパンに関する国民の参加を促しつつ、地域に眠るクールジャパン資源を掘り起しを行いつつ、各地方での異業種連携や地域間連携につなげていく。

【第1回開催概要】

日時: 12月14日(土)、15:30~17:30

場所: 京都府

出席者: 稲田大臣、京都においてクールジャパンの各分野で取組まれている方々

- | | |
|--------------------|--|
| ・コンテンツ分野の研究者 | ・伝統文化の西陣織である技術を用いて
日本文化を発信するプロデューサー |
| ・外国人にもマンガを教えている漫画家 | ・手術シミュレーションのための心臓モデル
クリエイター |
| ・時代劇の製作・国内外への伝道者 | ・日本文化を伝えるイベントディレクター |
| ・日本酒を作る杜氏 | ・お弁当文化の発信を行っている外国人 |
| ・外国人に日本料理を伝える日本料理人 | ・京都府、京都市の方 |

【第2回: 愛媛県松山市で開催(平成26年3月)】

クールジャパン戦略3原則

クールジャパンは、

○国民運動・社会的ムーブメント

○みんなが一丸となって推進

○民間主導、政府は後方支援

クールジャパン戦略展開の3つのキーワード

キーワードは、

○デザイン

○地方・伝統

○外国人

CJムーブメント推進会議の狙い

CJムーブメント推進会議の狙いは、

○クールジャパン関連イベントをより魅力的に

○クールジャパンを国民運動として盛り上げる